

2024/01/22

第12回アカデミア交流会

「皮膚マイクロバイオームが宿主にもたらすもの、またその応用」
(ハイブリッド開催)

JMBCでは、マイクロバイオーム研究の基盤となる健常人データベース構築に向けた議論を深めるべく、定期的にアカデミアとの交流会を開催しています。

今回は、大阪大学免疫学フロンティア研究センター 教授 松岡 悠美先生にご登壇頂き、皮膚マイクロバイオームと疾患に関する研究や創薬の現状についてご講演頂きました。新生児期～幼児期の小児アトピー性皮膚炎の発症が、その後の食物アレルギー、花粉症などの発症に繋がっていること、アトピー性皮膚炎の発症・病態に *Staphylococcus aureus* のクオラムセンシングが深く関わっていることなどを、研究データを示してご紹介頂きました。また皮膚マイクロバイオームに着目した創薬について海外の事例をご紹介頂くなど、大変興味深い内容についてご講演頂きました。



松岡先生



当コンソーシアム運営委員長寺内

○ 松岡先生のご略歴

- ・ 2003年6月 山梨大学医学部附属病院皮膚科 医員

- ・ 2009年 3月 千葉大学大学院 博士課程修了
- ・ 2009年 4月 ミシガン大学病理学教室 Gabriel Nunez 研究室リサーチフェロー
- ・ 2013年 9月 一般財団法人日本予防医学協会 リサーチフェロー
- ・ 2014年 4月 千葉大学大学院医学研究院 皮膚科学 助教
- ・ 2018年 1月 千葉大学大学院医学研究院 皮膚科学 講師
- ・ 2020年 4月 大阪大学免疫学フロンティア研究センター 皮膚免疫学 特任准教授（常勤）
- ・ 2022年 4月 大阪大学免疫学フロンティア研究センター 皮膚免疫学 准教授
- ・ 2022年 11月 大阪大学免疫学フロンティア研究センター 皮膚アレルギー生体防御 教授

資格

- ・ 2015年 日本皮膚科学会 皮膚科専門医
-